

学会員（教員）研究動向 [2011.4～2012.3]

名前	種別	書名、論文名等、(掲載書名・誌名(巻号)、出版社・発行所)、頁	発行年月
赤井 正二	論文(単著)	「木下柰太郎の思想展開におけるジンメルの芸術論」(『立命館産業社会論集』第47巻第3号) 19-40頁	2011.12
秋葉 武	著書(共編著)	『危機の時代の市民活動—日韓「社会的企業」最前線—(秋葉武・川瀬俊治・菊地謙・桔川純子・広石拓司・文京洙, 東方社) 165-178頁	2012.3
	論文(単著)	「韓国における生協の生成」(『日本ボランティア学会2010年度版学会誌』11号, 日本ボランティア学会) 90-105頁	2011.6
	論文(単著)	「生協による産消連携による地域づくり—パルシステム生協の生成と展開—」(協同組合経営研究誌『にじ』635号) 113-128頁	2011
	論文(単著)	「韓国の社会的企業—現状と言説の多様性—」(『協同の発見』222号, 協同総合研究所) 23-31頁	2011
	研究発表等(単独)	「『自転車国家』を目指す韓国を通して日本をみる」(自転車活用推進研究会 in 関西, 於: 大阪市立大学)	2011.5
	研究発表等(単独)	「韓国の社会的企業」(東アジア社会政策研究会, 於: 豊橋市)	2011.8
	研究発表等(単独)	「韓国における社会的企業のマネジメント」(日本経営診断学会第44回全国大会個別論題報告, 於: 別府大学)	2011.10
	研究発表等(単独)	「生協を媒介とする農山漁村活性化—パルシステム生協を事例として—」(日本協同組合学会第31回全国大会個別論題報告, 於: 神戸市)	2011.10
	研究発表等(単独)	「生協における組合員参加—パルシステム生協を事例として—」(新ビジョン協同組合研究会, 於: 明治大学)	2011.10
	研究発表等(単独)	「韓国における貧困問題と社会的企業—ローカル・ガバナンスの視点から—」(社会起業塾, 於: 関西学院大学)	2011.12
	研究発表等(単独)	「韓国の社会的企業」(京都大学文学研究科特別講義)	2011.12
荒木 穂積	論文(共著)	「自閉症スペクトラム児とその家族のニーズについての日本・中国・ベトナム3カ国の比較調査研究」(竹内謙彰・荒木穂積他, 『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 213-236頁	2011.6
	論文(共著)	「自閉症スペクトラム幼児の遊びの発達と教育的対応—1歳8ヵ月から4歳8ヵ月までのプレイセラピーの分析から—」(荒井庸子・荒木穂積他, 『立命館大学心理教育相談センター年報 No.10』) 32-50頁	2012.2
	論文(共著)	「舞鶴市における発達障害児の実態とニーズに関する調査研究—保育所・幼稚園における「気になる子」の特別なニーズと発達支援—」(荒井庸子・前田明日香他, 『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 99-121頁	2012.3
	その他(編著)	『特別な支援の必要な子どもと家族のニーズに関する実態調査研究—舞鶴市委託研究報告書—』(立命館人間科学研究所) 全83頁	2012.3

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
荒木 穂積	研究発表等 (共同)	「発達障害児における障害の診断・告知とその後の支援を考える—東アジア地域三か国の比較研究から—」(荒木穂積・竹内謙彰(企画・運営) 日本特殊教育学会第49回大会自主シンポジウム日本特殊教育学会第49回大会, 於: 弘前大学)	2011. 9
	研究発表等 (共同)	「東アジアにおける自閉症スペクトラム児の親のニーズに関する比較研究(3)—自由記述の分析から: 日本の場合—」(前田明日香・荒木美知子ほか, 第23回日本発達心理学会, 於: 名古屋国際会議場)	2012. 3
	研究発表等 (共同)	「東アジアにおける自閉症スペクトラム児の親のニーズに関する比較研究(4)—事例の分析から: 日本の場合—」(荒木美知子・前田明日香ほか, 日本発達心理学会, 於: 名古屋国際会議場)	2012. 3
有賀 郁敏	著書(共著)	阿部生雄他編著『体育・スポーツの近現代—歴史からの問いかけ』(「ドイツ初期トゥルネン協会運動における結社の自由をめぐる問題—結社, 法制度, 社会的自己調整メカニズム」, 不味堂出版) 501-521頁	2011. 5
	著書(編著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(「歴史学とスポーツ史—歴史意識からの問い—」, 文理閣) 1-19頁	2011.11
	著書(編著)	有賀郁敏・山下高行編『同上』(「ドイツ初期協会組織における秩序形成—黎明期のトゥルネン協会を中心に—」, 文理閣) 180-208頁	2011.11
粟谷 佳司	著書(共著)	駒井洋監修・編, 小倉充夫編『叢書グローバル・ディアスポラ5 ブラック・ディアスポラ』(「カナダのブラック・ディアスポラ ポピュラー音楽, 多文化主義, 観光, インターネット空間との関わりから」, 明石書店) 232-252頁	2011. 5
飯田 豊	著書(共著)	『IT時代の震災と核被害』(東浩紀・飯田豊他, インプレスジャパン) 141-153頁	2011.12
	論文(単著)	「『つながり』のメディア史序説—戦後日本の無線文化における指向性の類型化」(『福山大学人間文化学部紀要』12巻) 9-28頁	2012. 3
	その他(単著)	「『携帯電話』以前の移動通信について」(コラム)(岡田朋之・松田美佐編『ケータイ社会論』, 有斐閣選書) 38-39頁	2012. 3
	研究発表等 (単独)	「メディアを“着脱”することのリテラシー」(「デジタル教科書から見える教育の未来」シンポジウム, 於: 内田洋行大阪支店)	2011. 5
	研究発表等 (単独)	「ネット文化の変遷からテレビの将来を考える—大学生に対する視聴状況調査を踏まえて」(中四国映像製作社連盟秋の総会, 於: アークホテル岡山)	2011.11
石倉 康次	論文(単著)	「日本における生存権保障と公的責任」(『障害者問題研究』Vol.139, No.4, 全国障害者問題研究会) 50-56頁	2012. 2
	論文(単著)	「社会福祉の新自由主義的改革と社会福祉施設・事業の経営をめぐる言説の推移」(『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 115-136頁	2011. 6
	翻訳(監訳)	石倉康次・市井吉興監訳, イアン・ファーガスン著『ソーシャルワークの復権』(クリエイツかもがわ) 全269頁	2012. 5
	その他(単著)	「2010年度版大阪府『人権問題に関する府民意識調査報告書』の特徴と問題点」(『人権と部落問題』増刊号 No.826) 96-105頁	2012. 2
	その他(単著)	「社会福祉の分野からみた重度認知症患者デイケア」(日本精神神経科診療所協会認知症等高齢化対策委員会編『どんとこい認知症 重度認知症患者デイケアの挑戦』, 創造出版) 22-26頁	2011.11

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
石田 智巳	論文(単著)	「意味を問い直す実践」(『たのしい体育・スポーツ』250号, 創文企画) 8-9頁	2011.4
	論文(単著)	「民間教育研究運動について」(『同上』252号) 36-37頁	2011.6
	論文(単著)	「運動文化論が描く人格形成論」(『体育科教育』59巻7号) 36-37頁	2011.7
	論文(単著)	「民間研と官製研の違い」(『たのしい体育・スポーツ』253号, 創文企画)	2011.7
	論文(単著)	「戦後の体育科教育は言語活動をどう扱ってきたのか」(『体育科教育』59巻10号) 24-27頁	2011.10
	論文(単著)	「『うまくしてどうする』発言をめぐって」(『たのしい体育・スポーツ』256号, 創文企画) 16-17頁	2011.11
	論文(単著)	「佐々木賢太郎の体育教育思想形成に関する研究:『体育の子』時代の生活綴方と子どもの認識形成に関わって」(『体育学研究』56巻2号) 435-449頁	2011.12
	論文(単著)	「じゃまじゃまサッカーに見られる工夫と体育における言語活動」(研究紀要, 枚方市立菅原東小学校編) 44-47頁	2012.2
研究発表等(共同)	体育授業における感想文分析の枠組みの検討(石田智巳・林俊雄・口野隆史, 日本教科教育学会, 於: 沖縄大学)	2011.11	
池内 靖子	その他(単著)	「ジェーン・ジン・カイセン監督の映画『女と孤児と虎』—抗争の場をひらく声と語り」(『インパクション』180号, インパクト出版会) 206-210頁	2011.6
	研究発表等(単独)	「ジェーン・ジン・カイセンの映画『女と孤児と虎』について」(お茶の水女子大ジェンダー研究センター, 於: お茶の水女子大学)	2011.4
	研究発表等(単独)	“The Powers of Mourning and Violence in the Works of Performance by Soni Kum” (国際演劇研究学会 (IFTR), 於: 大阪大学)	2011.8
	研究発表等(単独, 国外)	“The Work of Three Women Artists: Korean Diaspora and the Politics of Translation” (デンマークの美術館, The Aarhus Art Building-Centre for Contemporary Artにおけるシンポジウム)	2011.11
	研究発表等(単独, 国外)	“Rethinking the Genderized/ Normalized/ Nationalized Body: On Corporeal Expression in Butoh and Kim Manri’s Performance Troupe <i>Gekidan Taihen</i> .” (於: オーストラリア・メルボルン大学)	2011.12
	市井 吉興	著書(共著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(『新自由主義型自由時間政策の現在: 政権交代・生活サポート型レジャー・休日分散化』, 文理閣) 319-335頁
訳書(共訳)	『ソーシャルワークの復権: 新自由主義への挑戦と社会主義の確立』(石倉康次・市井吉興監訳, クリエイツかもがわ) 全269頁	2012.3	
伊藤 隆司	論文(単著)	「教育実践の内的把握を可能とする実践記録のありかた」(『語り合う文学教育』10号, 語り合う文学教育の会) 27-32頁	2012.3
伊東 寿泰	論文(単著)	「良い翻訳とは何か?—ヨハネ福音書の翻訳をめぐって」(『聖書翻訳研究』第32号, 日本聖書協会) 1-18頁	2011.7
乾 亨	著書(共編著)	乾亨・延藤安弘編著『マンションを故郷にしたユーコート物語—これからの集合住宅育て』(昭和堂) 全306頁	2012.1
	論文(単著)	「京都の地域組織とコミュニティ政策」(中川幾郎編著『コミュニティ再生のための地域自治の仕組みと実践』, 学芸出版社) 125-139頁	2011.7
	論文(単著)	「コミュニティの応災力に期待する」(『都市とガバナンス』vol.16, 財)日本都市センター) 58-66頁	2011.9

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
乾 亨	研究発表等 (コーディネーター)	「京都市・大阪市・神戸市のまちづくりとコミュニティ政策」(第10回コミュニティ政策学会京都大会記念シンポジウム, 於:同志社大学)	2011.7
井上 雅彦	論文(単著)	「私立大学における国語科教員養成カリキュラムの実践的研究—ある学生のライフストーリーをもとに—」(『月刊国語教育研究』, 日本国語教育学会) 50-57頁	2011.6
	その他 (項目執筆)	「記録文, 報告文, レポート」項目(日本国語教育学会編『国語教育総合事典』, 朝倉書店) 全807頁	2011.12
	研究発表等 (単独)	「私立大学における国語科教員養成カリキュラムの実践的研究Ⅱ—六名の学生の学びのプロセスをもとに—」(全国大学国語教育学会, 於:高知大学)	2011.10
瓜生 吉則	論文(単著)	「石子順造の／とマンガ＝メディア論」(『石子順造の世界 美術発・マンガ経由・キッシュ行』, 美術出版社) 86-88頁	2011.12
漆原 良	著書(共著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(『コーディネーションントレーニングの効果と課題』, 文理閣) 442-455頁	2011.12
	研究発表等 (共同)	「心理状態と光波長毎の視覚情報処理の関係」(細野裕希・漆原良, 第19回日本運動生理学会, 於:徳島大学)	2011.8
江口 友朗	研究発表等 (単独)	「『進化経済学』によせて:学説的位置と制度のミクロ的基礎の視点から」(進化経済学会現代日本の経済制度(全国)部会, 於:立命館大学)	2011.11
遠藤 保子	著書(共著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(『今日のケニアにおける舞踊と音楽』, 文理閣) 275-295頁	2011.11
	論文(共著)	“An Analysis of Nigerian Dance Movements by Motion Capture System” (Yasuko ENDO, Susumu AIHARA 他, International Symposium Human Body Motion Analysis with Motion Capture) pp.77-81	2011.4
	論文(共著)	「劇場におけるアフリカの民族舞踊」(遠藤保子・松田凡, 『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 27-48頁	2011.6
	論文(共著)	「劇場におけるアフリカの民族舞踊—ガーナの民族舞踊公演を事例として—」(遠藤保子・松田凡・相原進, 『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 139-157頁	2012.3
	研究発表等 (単独, 国外)	“Special Lecture “African Dance and Development Education”” (立命館大学英国事務所開所記念シンポジウム, 於: Univ. of London SOAS)	2011.5
	研究発表等 (共同, 国外)	「ナイジェリアの舞踊とモーションキャプチャ」(相原進・遠藤保子, 慶祝建国百年節慶典賽会・国際学術研討会, 於: 中華民国, 建國科技大學)	2011.6
	研究発表等 (単独)	「今日のガーナにおける伝統的舞踊—舞踊演目と伝承法—」(日本体育学会第62回大会, 於: 鹿屋体育大学)	2011.9
	研究発表等 (共同)	「舞踊と生業—ガーナの舞踊および生業に関する動作分析をもとに—」(相原進・遠藤保子・高橋京子, 日本スポーツ人類学会第13回学会大会, 於: 天理大学体育学部キャンパス)	2012.3
	大谷いづみ	論文(単著)	「いのちの教育:臓器提供を『訓育』する装置?—カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』を『豚のPちゃん』の教育実践とともに読み解く」(『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 237-258頁

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
大谷いづみ	論文(単著)	『『いのちの教育』を立ち止まって考える—パッケージ化して語られる『生と死の物語』の陥穽』(『小学校時報』721巻, 全国連合小学校長会) 4-8頁	2011.9
	論文(共著)	「生活のなかの死: 地域社会での看取りを考える」(竹之内裕文・大谷いづみ, 『医学哲学医学倫理』29巻, 日本医学哲学・倫理学会) 77-78頁	2011.9
	研究発表等 (単独)	「たいていは二項対立の是非論が予定調和する単純な問題『解決』には終わら／終えられない—『いのち』を語ること／教えること」(2011年度夏期生存学セミナー, 於: 京都キャンパスプラザ)	2011.9
	研究発表等 (単独)	「『自分らしく, 人間らしく』死にたい?—『安楽死・尊厳死』思想が内包するもの」(「難病患者・障害者の自宅療養を考える」学習会, 於: グランドヒル市ヶ谷)	2012.2
大野 威	論文(単著)	「アメリカにおける自動織機の普及と労働の変化」(『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 33-45頁	2012.3
	研究発表等 (単著)	「自動織機導入に対する日英米労使の対応の比較分析」(日本労働社会学会第23回大会, 於: 九州産業大学)	2011.10
岡田 まり	論文(共著)	「ACTスタッフの研修とスーパービジョン」(岡田まり・三品桂子・佐藤純, 『精神保健福祉』42巻3号)	2011
	研究発表等 (共同)	「ACTスタッフの研修とスーパービジョン」(岡田まり・三品桂子・佐藤純, 第47回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会／第10回日本精神保健福祉士学会学術集会, 於: 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛)	2011.6
	研究発表等 (司会・パネリスト等)	“Past social work education, Symposium held by Japanese Association of Schools of Certified Social Worker: Field education of social work education in Japan.” (The 21th Asia-Pacific Social Work Conference)	2011.7
岡本 茂樹	論文(単著)	「受刑者支援にエンプティチェア・テクニクとロールレタリングを導入した面接過程」(『ゲシュタルト療法研究』1巻, 日本ゲシュタルト療法学会) 19-27頁	2011.7
	論文(単著)	「心理面接におけるロールレタリングの実際」(『ロールレタリング研究』11巻) 1-16頁	2011.8
	論文(単著)	「受刑者に対するロールレタリングを取り入れたプログラムによる心理的支援」(『同上』11巻) 29-39頁	2011.8
	研究発表等 (単独)	「殺人を犯した受刑者に対するロールレタリングを用いたグループワークによる心理的支援」(日本ロールレタリング学会第12回大会, 於: 梅花女子大学)	2011.8
	研究発表等 (単独)	「無期懲役受刑者の更生は可能か—矯正教育におけるロールレタリングの導入と意義」(日本ロールレタリング学会第12回大会, 於: 梅花女子大学)	2011.8
	研究発表等 (単独)	「無期懲役受刑者に対するロールレタリングを用いた面接過程」(日本心理臨床学会第30回大会, 於: 福岡国際会議場)	2011.9
	研究発表等 (単独)	「社会復帰を控えた受刑者に対するロールレタリングを用いた教育プログラム」(日本矯正教育学会第47回大会, 於: 東京中野サンプラザ)	2011.9
小川 栄二	論文(単著)	「全労連『高齢者分野の介護労働実態調査』から見えること」(『社会保障』No.435号, あけび書房) 74-76頁	2011.5

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
小川 栄二	論文(共著)	「地域包括支援センターにおける高齢者の援助拒否・社会的孤立・潜在化問題に関する調査報告書—第一次集計」(高齢者の援助拒否・社会的孤立・潜在化問題研究会) 73-80頁	2012. 2
奥村 信幸	論文(単著)	「『2011年米ニュースメディアの現状』報告から ニュースが断片化して拡散する 受け手に求められる選別と検証」(『Journalism』257号, 朝日新聞出版) 72-79頁	2011. 9
	論文(単著)	「キーワードはマルチプラットフォーム—未来のジャーナリズムを担うために必要なこと」(NHK放送文化研究所『放送メディア研究』9号『特集 メディア融合時代のジャーナリズムの新しい可能性』9号) 55-87頁	2012. 3
	その他(単著)	「致命的な『1日遅れ』」(「新聞を読んで」『東京新聞』2011年7月11日朝刊)	2011. 7
	その他(単著)	「『利益相反』に気づく大切さ」(「新聞を読んで」『同上』2011年8月14日朝刊)	2011. 8
	その他(単著)	「政治の『コトバ』が不親切だ」(「新聞を読んで」『同上』2011年9月11日朝刊)	2011. 9
	その他(単著)	「未来の“紙面”をネットに」(「新聞を読んで」『同上』2011年10月9日朝刊)	2011.10
	その他(単著)	「小沢氏取材の『勘違い』」(「新聞を読んで」『同上』2011年11月6日朝刊)	2011.11
	その他(単著)	「『熱気』の理由が知りたい」(「新聞を読んで」『同上』2011年12月4日朝刊)	2011.12
	その他(単著)	「原発報道は終わらない」(「新聞を読んで」『同上』2012年1月8日朝刊)	2012. 1
	その他(単著)	「記者のルールも公開を」(「新聞を読んで」『東京新聞』2012年2月5日朝刊)	2012. 2
	その他(単著)	「『更正の望み』守るなら・・・」(「新聞を読んで」『同上』2012年3月4日朝刊)	2012. 3
	研究発表等 (単独)	「新聞のマルチメディア展開のヒント—ジャーナリズムとビジネスの両立のために」(関西新聞有線放送協議会(全国紙5紙, 共同通信, 中日・神戸・京都新聞の電波・マルチメディア担当者の勉強会), 於: 大阪・新阪急ホテル)	2012. 3
小澤 亘	その他(単著)	「多言語 DAISY テキストの可能性—新たな教育支援ネットワークの創造に向けて」(『京都 YWCA-APT 20周年記念誌 多文化共生社会をめざして20年』, 京都 YWCA-APT) 58-62頁	2011.10
	その他(共著)	「東九条・小栗栖地域の高齢者調査中間報告」(『在日コリアンに関する高齢者居住調査および学生の意識調査 共に生きる—マイノリティとの共生—』, 龍谷大学人権問題研究委員会) 21-60頁	2012. 3
	研究発表等 (単独)	“Support network for foreign students' education by DAISY”, DAISY Consortium International Daisy Congress 'Digital Books, Inclusion and the Market: New production perspectives', 5th November 2011, in Sao Paulo.)	2011.11
	研究発表等 (単独)	“Comparative Study on Volunteerism of the Youth in Japan, Korea and Canada: Civil Society and Volunteer Problems” (国際シンポジウム『転換期の東アジア: East Asia in Transition』立命館大学人文科学研究so・産業社会学部主催, 於: 立命館大学)	2012. 3

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
角田 将士	著書(共編著)	片上宗二・木村博一・永田忠道編著『混迷の時代!“社会科”はどこへ向かえばよいのか—激動の歴史から未来を模索する—』(明治図書) 29-37頁	2011.8
	研究発表等 (単独)	「初等社会科教育に関する研究は何をめざしていけばよいのか—初等社会科教育の充実のために取り組むべき課題とは—」(全国社会科教育学会第60回全国研究大会(フォーラムⅢラウンドテーブル), 於: 広島大学)	2011.10
景井 充	論文(単著)	「現代日本の閉塞の構造—“道徳的包摂”の観点から—」(『唯物論研究ジャーナル』vol.3, 全国唯物論研究協会) 1-9頁	2011.5
	報告(共著)	「産業社会学部における『学びの文化 Habitus』を創造するために—アメリカ大学学生生活調査報告—」(景井充・小倉浩幸, 『立命館高等教育研究』第12号) 209-224頁	2011.5
	教育実践 (共著)	「『京北プロジェクト』の地域づくりと教育づくり—その意義, 到達点, 展望—」(景井充・高嶋正晴, 『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 315-329頁	2011.6
加藤 雅俊	著書(単著)	『福祉国家再編の政治学的分析—オーストラリアを事例として—』(御茶の水書房) 全324頁	2012.3
	著書(共編著)	新川敏光編『福祉レジームの収斂と分岐』(第4章「オーストラリア福祉レジームの変容—社会変容への二つの対応—」, ミネルヴァ書房) 140-165頁	2011.7
	論文(単著)	「福祉国家再編分析におけるアイデア・利益・制度(2)—制度変化の政治学的分析に向けて—」(『北大法学論集』62巻2号) 1-48頁	2011.7
	調査報告 (共著)	「京都府与謝野町における障害者福祉と福祉ガバナンスに関する調査報告」(黒田学・中西典子・長谷川千春・加藤雅俊・丸山里美・青木一博, 『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 169-188頁	2012.3
金山 勉	著書(共編著)	金山勉・津田正夫編『ネット時代のパブリック・アクセス』(世界思想社) 289-304頁, 全326頁	2011.4
	著書(共編著)	金山勉・魚住真司編著『知る権利と伝える権利のためのテレビ: 日本版FCCとパブリックアクセスの時代』(花伝社) 16-23, 43-47頁, 全80頁	2011.11
	その他(単著)	「米NPR会長が引責辞任」(『メディア展望』591号, (公)新聞通信調査会) 31頁	2011.4
	その他(単著)	「米も移動体TV本格化へ」(『同上』592号) 13頁	2011.5
	その他(単著)	「米初のソロアンカー降板へ」(『同上』593号) 13頁	2011.6
	その他(単著)	「全米ブロードバンド計画へ前進」(『同上』594号) 23頁	2011.7
	その他(単著)	「4年間に米新聞で1万3400人失職」(『同上』595号) 25頁	2011.8
	その他(単著)	「米業界がCMに替え新戦術」(『同上』596号) 33頁	2011.9
	その他(単著)	「NFLロックアウト解除に安堵」(『同上』597号) 24頁	2011.10
	その他(単著)	「米公共ラジオ放送の新会長にネル氏」(『同上』598号) 30頁	2011.11
	その他(単著)	「米国民の関心, トップは不況」(『同上』599号) 34頁	2011.12
	その他(単著)	「膨れ上がる米大統領選の選挙広告費」(『同上』600号) 31頁	2012.1
	その他(単著)	「タブレット型を米国人の11%が使用」(『同上』601号) 30頁	2012.2
その他(単著)	「スーパーボウルが史上最多視聴に」(『同上』602号) 24頁	2012.3	
唐鎌 直義	論文(単著)	「社会保障の今日的課題と改革構想」(『日本の科学者』46巻10号, 日本科学者会議) 52-58頁	2011.10

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
唐鎌 直義	論文(単著)	「脆弱な生活再建の土台—社会保障による生活再建の思想—」(『経済』194号, 新日本出版社) 39-51頁	2011.11
	論文(単著)	「労働者階級の貧困と社会保障」(『総合社会福祉研究』39号, 総合社会福祉研究所) 8-21頁	2011.12
	論文(単著)	「社会保障の拡充は『富の再分配』で—『税と社会保障の一体改革』批判」(『保育情報』423号, 全国保育団体連絡会) 4-10頁	2012. 2
	研究発表等(単独)	「今日の『貧困』と『3.11』後の社会保障」(日本科学者会議, 於: 明治大学)	2011.11
川口 晋一	著書(共著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(「合衆国における公的リクレーション運動とその主体」, 文理閣) 296-318頁	2011.11
権 学俊	著書(共著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(「戦時下植民地朝鮮における身体管理と規律化に関する一考察」, 文理閣) 68-94頁	2011.11
	論文(単著)	「戦後自衛隊の国民宣伝活動に関する一考察」(『日本語文学』53巻, 日本語文学会) 443-466頁	2011. 5
	研究発表等(同会・バ利社等)	「東北アジアにおける文化共同体構想とその展望」(東北アジア文化学会 国際学術大会, 於: 韓国, 高麗大学)	2011. 5
草深 直臣	著書(共著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(『スポーツ研究』断想, 文理閣) 211-223頁	2011.11
黒田 学	著書(共著)	『障害のある子どもの放課後活動ハンドブック』(障害のある子どもの放課後保障全国連絡会(全国放課後連)編, かもがわ出版) 146-158頁	2011.12
	論文(単著)	「ベトナムにおける知的障害児の早期介入に関する機関調査研究—ハノイ, フェ市, ホーチミン市を中心に—」(『日本ベトナム障害児教育・福祉研究』8・9合併号) 49-59頁	2011. 8
	論文(単著)	「ベトナムの障害児教育の動向と課題—ハノイ師範大学障害児教育学部開設10周年記念式典および研究会議(2011年)を踏まえて—」(同上) 70-73頁	2011. 8
	論文(共著)	「ロシア・サンクトペテルブルグの障害児教育を訪ねて」(黒田学・小西豊・小西文字, 『人間発達研究所通信』27巻1号, 人間発達研究所) 8-13頁	2011. 6
	論文(共著)	「タイ・バンコクの障害児教育を訪ねて」(黒田学・向井啓二・仲春奈, 『同上』27巻3号) 3-9頁	2011.12
	調査報告(共著)	「京都府与謝野町における障害者福祉と福祉ガバナンスに関する調査報告」(黒田学・中西典子・長谷川千春・加藤雅俊・丸山里美・青木一博, 『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 169-188頁	2012. 3
小泉 秀昭	研究ノート(単著)	「〈広告知〉に関する研究—その定義とホワイトヘッドの教育論との関係—」(『青山経営論集』第46巻3号) 173-186頁	2011.12
	研究発表等(単独)	「共視性を視野にいたエンゲージメント状態の考察: 番組コンテンツと連動した TVCM 表現の可能性」(日本広告学会第42回全国大会, 於: 近畿大学)	2011.11
斎藤 真緒	調査報告(単著)	「男性介護者の介護実態と支援の課題—男性介護ネット第1回会員調査から—」(『立命館産業社会論集』第47巻第3号) 111-127頁	2011.12

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
斎藤 真緒	報告書(単著)	「現代的課題としての家族介護者支援」(『共同対人援助モデル研究1 家族介護者支援の論理—男性介護者の介護実態と支援の課題』, 立命館大学人間科学研究所) 3-10頁	2012.2
	その他(単著)	「イギリスの介護者支援—仕事と介護との両立を中心に」(『ぼーれぼーれ』, 認知症の人と家族の会) 15頁	2012.2
坂田 謙司	著書(共著)	「『反戦』と『好戦』のポピュラー・カルチャー—メディア/ジェンダー/ツーリズム—」(『プラモデルと戦争の『知』—『死の不在』とかがこよさ』, 人文書院) 193-225頁	2011.8
	論文(単著)	「radikoの登場と『ラジオ携帯』の意味変容—ラジオの移動から遍在へ—」(『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 13-31頁	2012.3
坂本 利子	論文(単著)	「南アフリカの真実和解委員会と女性たちの証言」(『立命館言語文化研究』23巻2号) 83-92頁	2011.6
崎山 治男	論文(単著)	「社会と感情が交差する地点に向けて:〈生存〉との対話を通して」(『生存学』5号, 立命館大学) 206-216頁	2012.3
	論文(単著)	「仏教ホスピスにおける相互行為の技法: 宗教的資源という装置」(『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 69-80頁	2012.3
櫻井 純理	論文(単著)	「NPOが担う『公共』とその『労働』—就労支援に関わるNPOの調査をふまえて」(『日本労働社会学会年報』22号) 21-42頁	2011.12
	論文(単著)	「就労に向けたアクティベーション①社会的企業・中間労働市場, 職業観, ボランティア」(おおさかパーソナル・サポート・モデルプロジェクト事業『中間まとめ』) 52-56頁	2012.3
櫻谷真理子	論文(単著)	「児童養護施設における生活指導・援助の課題」(『生活指導研究』No.28) 27-39頁	2011.9
	研究発表等(単独)	「児童福祉臨床における子育て・子育ての現状と課題」(大学コンソーシアムひょうご神戸シンポジウム, 於: 神戸女子大学)	2011.10
笹野恵理子	論文(単著)	“The Possibilities of Art Management Education in Higher Education: from the viewpoint of music education—Expansion of the Labor Market and Construction of the Society through Art Management Education—” (The Prospect of Dance Studies and Career Research) pp.17-26	2011.10
	論文(単著)	「学校音楽はどう経験されるか—潜在的カリキュラム研究の視点からみえてくるもの—」(『初等教育資料』880号, 文部科学省) 68-71頁	2011.12
	論文(単著)	「子どもの学校音楽カリキュラム経験の内容構造分析—日本と韓国における質問紙調査の分析を通して—」(『カリキュラム研究』21号, 日本カリキュラム学会編) 57-71頁	2012.3
	論文(共著)	“Attempt of Making of Teaching Evaluation vote in Republic of Korea Elementary School Practice Class—Factorial analysis of Subject Class Investigation by Students—” (Takanobu Miyamoto, Saburo Kariya, Yook, Cho-Young, Koichi Ueno, Kyoko Kojima, Eriko Sasano, Ju, Sung-Bum, Journal of Korea Sport Research (22巻2号)) pp.27-47	2011.6
	論文(共著)	「高校生の部活動にみる音楽活動の形成過程—高等学校における軽音楽部のエスノグラフィーを通して—」(『学校音楽教育研究』16巻, 日本学校音楽教育実践学会編) 25-36頁	2012.3

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
笹野恵理子	その他(単著)	「海外教育事情：〈日韓国際シンポジウム〉報告と韓国の音楽教育」 （『学校音楽教育研究』16巻, 日本学校音楽教育実践学会編）282頁	2012. 3
	研究発表等 (単独)	「学校音楽はどう経験されるか—生きられる学校音楽カリキュラム—」 （音楽学習学会第7回大会基調講演, 於：関西学院大学）	2011. 8
	研究発表等 (単独, 国外)	“The Possibilities of Art Management Education in Higher Education: from the viewpoint of music education—Expansion of the Labor Market and Construction of the Society through Art Management Education—” (The 2nd International Dance Symposium 2011, Korea National Univ. Seoul, South Korea)	2011.10
	研究発表等 (単独)	「音楽教育研究において潜在的カリキュラム研究とは何か(7)—学校音楽を『教える』ことと『学ぶ』ことの諸相—」(本音楽教育学会第42回大会, 於：奈良教育大学)	2011.10
	研究発表等 (単独)	「日韓の子どもの学校音楽カリキュラム経験と学校音楽文化—制度化されたカリキュラムはどう経験されるか—」(日本教科教育学会第37回全国大会, 於：沖縄大学)	2011.11
	研究発表等 (同会・バ刹外等)	「実技教科における〈学びの経験〉とは何か」(申範澈・陸調永・上野行一・小島郷子・笹野恵理子・宮本隆信・刈谷三郎・周聖範, 日韓国際シンポジウム, 於：高知大学)	2012. 2
鎮目 真人	著書(共著)	『社会福祉学』(平岡公一・杉野昭博・所道彦・鎮目真人, 有斐閣) 151-164, 197-216, 307-345, 365-422頁	2011.12
	論文(単著)	「私的年金制度の類型—年金制度における公私ミックスの方向性—」 (NIRA 研究報告書『時代の流れを読む—自律と連帯の好循環—』, 総合研究開発機構) 93-107頁	2011. 4
	論文(単著)	「(評論) 2010年度学界回顧と展望 社会保障・社会福祉政策部門」 (『社会福祉学』52巻3号) 80-93頁	2011.11
	研究発表等 (コメンテーター)	「グローバル化のなかの福祉政策」(第9回福祉社会学会大会シンポジウム, 於：首都大学東京)	2011. 6
	研究発表等 (単独)	「新しい社会的リスクと公私の年金ミックス」(福祉社会学会第25回研究会「ポスト福祉国家について考える」, 於：北星学園大学)	2011. 8
	研究発表等 (単独)	「私的年金制度の制度類型—公私年金ミックスの方向性—」(日本社会福祉学会第59回全国大会, 於：淑徳大学)	2011.10
	研究発表等 (単独)	「量的研究の方法と投稿論文の修正過程」(福祉社会学会研究セミナー, 於：東洋大学)	2012. 2
	研究発表等 (単独)	「基礎年金の給付水準の決定要因と2004年年金改革」(日本年金学会2011年度第3回研究会, 於：同志社大学)	2012. 3
篠田 武司	著書(単著)	塚口淑子編『スウェーデンモデル—持続可能な社会を考える—』(「ワーク・ファミリー・バランスからみるスウェーデン・モデル」, ノルディック出版) 1-15頁	2011.11
	論文(単著)	「選択可能な社会と社会経済学」(『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 67-93頁	2011. 6
杉本通百則	論文(単著)	「高度経済成長と水俣病」(『科学・技術と社会を考える』, ムイスリ出版) 53-63頁	2011. 4
	論文(単著)	「アスベスト問題と国家の責任」(『同上』, ムイスリ出版) 65-78頁	2011. 4

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
杉本通百則	論文(単著)	「ドイツにおけるアスベスト問題の現状と歴史的展開—1980年代のアスベストセメント製品の代替化の条件—」(『政策科学』(別冊)アスベスト問題特集号2011年度版, 立命館大学政策科学会) 19-47頁	2012. 3
住家 正芳	著書(共著)	『天空のミステリー』(一柳廣孝・吉田司雄編, 青弓社) 99-107頁	2012. 1
高嶋 正晴	訳書(共訳)	スーザン・ストレンジ著『国家の退場—グローバル経済の新しい主役たち—』(櫻井公人訳, 岩波書店) 15-80頁	2011.11
	論文(単著)	「グラムシアン・グローバリズムにみる『ポスト現代の君主論』—グローバルな有機的危機と世界秩序変革—」(『季報 唯物論研究』117号, 季報「唯物論研究」刊行会) 106-115頁	2011.12
	論文(単著)	지구시민사회와 세계 질서 (グローバル市民社会と世界秩序) (다카시마 마사하루 (高嶋正晴), 『한국사회학연구』(『韓国社会学研究』 3号, 中央大学校社会学研究所)) 1-31頁	2011.12
	書評(単著)	「アントニオ・グラムシ著, 松田博編訳『グラムシ「獄中ノート」著作集Ⅶ—歴史の周辺にて「サバルタンノート」注解—』(明石書店, 2011年)」(『季報 唯物論研究』118号, 季報「唯物論研究」刊行会) 120-122頁	2012. 2
	教育実践(共著)	「『京北プロジェクト』の地域づくりと教育づくり—その意義, 到達点, 展望—」(景井充・高嶋正晴, 『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 315-329頁	2011. 6
竹内 謙彰	論文(単著)	「幼児が航空写真を空間表現として理解するプロセス—幼児の語りの再分析—」(『立命館産業社会論集』第47巻第2号) 43-63頁	2011. 9
	論文(共著)	「自閉症スペクトラム児とその家族のニーズについての日本・中国・ベトナム 3カ国の比較調査研究」(竹内謙彰・荒木穂積他, 『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 213-236頁	2011. 6
	翻訳(単訳)	Katarzyna Chawarska, Amanda Steiner, Anne Snow 著「幼児期初期における自閉症スペクトラム障害のアセスメントと診断」(『発達研究』25巻) 237-264頁	2011. 8
	研究発表等(単独)	「高機能自閉症スペクトラム障害者の特別なニーズ(1)—青年期後期～成人期の子どもを持つ母親に対するインタビューに基づく分析—」(日本発達心理学会第23回大会, 於: 名古屋国際会議場)	2012. 3
	研究発表等(共同, 国外)	“Research on needs of children with autism spectrum disorders and their family: Comparison among Japan, China and Vietnam” (TAKEUCHI Yoshiaki, ARAKI Hozumi others, Asia Pacific Autism Conference 2011, 於: オーストラリア・パース市)	2011. 9
	研究発表等(共同)	「日本・中国・ベトナム 3カ国における発達障害児とその家族の特別なニーズについての調査研究: 自閉症スペクトラム障害と知的障害の比較を中心に」(竹内謙彰・荒木穂積他, 日本特殊教育学会第49回大会2011弘前大会, 於: 弘前大学)	2011. 9
	研究発表等(共同)	「東アジアにおける自閉症スペクトラム児の親のニーズに関する比較研究(3)—自由記述の分析から: 日本の場合—」(前田明日香・荒木美知子・竹内謙彰他, 日本発達心理学会第23回大会, 於: 名古屋国際会議場)	2012. 3
竹濱 朝美	論文(単著)	「再エネ普及のカギは買い取り価格, 参考になるドイツの先進性」(『エコノミスト』2011年9月6日号) 84-86頁	2011. 9

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
竹濱 朝美	論文(単著)	「再生可能エネルギー電力買取制の制度設計上の考慮点: ドイツ EEG の費用と効果の分析から」(『人間と環境』Vol.38, No.1, 日本環境学会) 13-25頁	2012. 3
	論文(単著)	「再生可能エネルギー買い取り制度 (FIT) の費用と効果」(植田和弘・梶山恵司編著『国民のためのエネルギー原論』, 日本経済新聞社) 195-223頁	2011.12
筒井 淳也	論文(単著)	「パネルデータの基礎的分析方法: NFRJ-08Panel の有効活用に向けて」(『家族社会学研究』23巻1号) 96-102頁	2011. 4
	論文(単著)	「日本の家事分担における性別分離の分析」(筒井淳也・田中重人・永井暁子編『第3回家族についての全国調査 (NFRJ08) 第2次報告書第1巻: 家族と仕事』, 日本家族社会学会全国家族調査委員会) 55-73頁	2011. 9
	論文(単著)	「親との関係良好性はどのように決まるか: NFRJ 個票データへのマルチレベル分析の適用」(『社会学評論』62巻3号, 日本社会学会) 301-318頁	2011.12
	論文(単著)	「公的セクターへの信頼の分析: 世界価値観調査による国際比較を通じた日本の特徴」(『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 47-67頁	2012. 3
	その他(単著)	「グラノバッター『転職』(金井雅之・小林盾・渡邊大輔編『社会調査の応用: 量的調査編: 社会調査士 E・G 科目対応』, 弘文堂) 83頁	2012. 2
	研究発表等 (単独)	「日本の家事分担における性別分離: NFRJ08による分析」(日本家族社会学会第21回大会, 於: 甲南大学)	2011. 9
	研究発表等 (単独)	“Work-Life Conflicts in the Public Sector Employment” (International Sociological Association Research Committee on Family (RC06) Research Seminar, 於: 京都大学)	2011. 9
	研究発表等 (単独, 国外)	“Comparative Analysis on the Attitude to Welfare States: with a Special Attention to Japan and Korea” (International Postgraduate and Academic Conference: “East Asia and Globalization in Comparison”, 於: 韓国, Chung-Ang University)	2012. 2
	研究発表等 (単独)	“East Asian Welfare Model and Its Discontents” (International Symposium: East Asia in Transition, 於: 立命館大学)	2012. 3
津止 正敏	報告書(共著)	『家族介護者支援の論理—男性介護者の介護実態と支援の課題—(立命館大学人間科学研究所) 全159頁	2012. 2
	論文(単著)	「『母親業』の分担を公的モデルで」(全国放課後連編『障害のある子どもの放課後活動ハンドブック』所収, かもがわ出版) 106-120頁	2011.12
	論文(単著)	「『介護と仕事暮らし』が折り合う環境—『ケアメン・プロジェクト』の提案—」(PARTNER (Vol.40), 東京都文京区役所) 2-4頁	2011.12
	論文(単著)	「男性介護者100万人時代の支援を考える」(月刊福祉100の論点VOL2, 全国社会福祉協議会) 96-97頁	2012. 3
	その他(単著)	「権利擁護・虐待防止の一年の動向〈高齢者分野〉」(権利擁護・虐待防止白書2012, 全国社会福祉協議会) 39-42頁	2012. 2
	研究発表 (共同)	「『介護者を支援すること』の論理と方法」(日本ボランティア学会2011年度大会, 於: 立命館大学)	2011. 6
	仲井 邦佳	研究ノート (単著)	「新正書法について」(『スペイン現代史』20号, スペイン現代史学会) 141-144頁
その他(単著)		「天候や時間の表現について」(『Acueducto』5号, Adelante) 21頁	2011. 5

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
仲井 邦佳	その他(単著)	「受身の表現について」(『同上』 6号) 27頁	2011.8
	その他(単著)	「推量の表現について」(『同上』 7号) 29頁	2011.11
	その他(単著)	「所有詞の用法について」(『同上』 8号) 26-27頁	2012.2
	その他(共著)	「 <i>El primer paso al español</i> はじめてのエスパニョール」(三修社) 全93頁	2012.2
中井 美樹	論文(単著)	「ライフイベントとジェンダー格差」(中井美樹, 佐藤嘉倫・尾嶋史章編『現代の社会階層 1 格差と多様性』, 東京大学出版会) 143-159頁	2011.9
	論文(単著)	「消費からみるライフスタイル格差の諸相」(『同上』, 東京大学出版会) 221-236頁	2011.9
	論文(単著)	“Social Stratification and Consumption Patterns: Cultural Practices and lifestyles in Japan” (Nakai, Miki, S. Ingrassia, R. Rocci, M. Vichi (eds.) <i>New Perspectives in Statistical Modeling and Data Analysis</i> , Springer, Heidelberg-Berlin) pp.211-218	2011
	論文(単著)	「『現代社会における地域と暮らしについての意識調査』の目的と概要」(『現代社会における統制と連帯一階層と対人援助に注目して』(平成20-23年度科学研究費補助金研究成果報告書(研究代表者: 景井充))) 73-76頁	2012.3
	論文(単著)	「社会階層と信頼感」(同上) 95-102頁	2012.3
	論文(単著)	「注目・承認獲得欲求と階層構造およびジェンダー」(同上) 103-110頁	2012.3
	論文(共著)	「教育階層と格差意識・社会活動・社会的ネットワークー地域と暮らしについての意識調査データからみる教育による分断をめぐる現状と課題一」(『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 299-313頁	2011.6
	研究発表等(単独)	“Class and Gender Differences in Cultural Participation: Asymmetric Multidimensional Scaling of Cultural Consumption.” (The 8th International Meeting of the Classification and Data Analysis Group of the Italian Statistical Society (CLADAG))	2011.9
	研究発表等(共同)	「Web 調査における公募型モニターと非公募型モニターの回答傾向」(第53回数理社会学会大会, 於: 鹿児島大学)	2012.3
	中西 純司	著書(単著)	『イマドキの「部活動」(第四章「学校の枠を超えて『人間的成長を育む, 地域ぐるみのスポーツ教育を』, メタ・プレーン) 全114頁, 75-89頁
論文(単著)		「『スポーツ基本法』の制定とこれからの大学体育の課題」(『体育・スポーツ教育研究』第12巻第1号, 九州地区大学体育連合) 37-41頁	2012.3
論文(共著)		「地域スポーツにおける連携・協働の推進」(柳沢和雄・野崎武司・中西純司, 日本体育学会体育経営管理専門分科会『体育経営管理論集』第4巻第1号) 87-113頁	2012.3
研究発表等(単独)		「『新しい公共』を担う総合型地域スポーツクラブの可能性に関する研究」(九州体育・スポーツ学会第60回記念大会, 於: 名城大学)	2011.8
研究発表等(単独)		「クラブ間ネットワークの意義と方法」(平成23年度日本体育学会第62回大会 体育経営管理専門分科会シンポジウム「地域スポーツにおける連携・協働の推進」, 於: 鹿屋体育大学)	2011.9
研究発表等(単独)		「日本体育協会によるクラブ支援」(日本体育・スポーツ経営学会第42回研究集会, 於: 筑波大学東京キャンパス文京校舎)	2012.1
研究発表等(共同)		「中学校保健体育教師のキャリア・デザインに関する研究(I)—特に, 職能構造モデルの構築に焦点をあてて—」(中田翔士・桐谷隆介・中西純司・兄井彰・照屋博行, 九州体育・スポーツ学会第60回記念大会, 於: 名城大学)	2011.8

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
中西 純司	研究発表等 (共同)	「中学校保健体育教師のキャリア・デザインに関する研究(Ⅱ)—職能とキャリア・デザインのあり方に焦点をあてて—」(同上)	2011. 8
	研究発表等 (共同)	「マイナースポーツにおける観客動員の実態と今後の展望—ラグビーフットボールに着目して—」(桐谷隆介・中西純司, 日本体育・スポーツ経営学会第35回大会, 於: 鳴門教育大学)	2012. 3
中西 典子	調査報告 (共著)	「京都府与謝野町における障害者福祉と福祉ガバナンスに関する調査報告」(黒田学・長谷川千春・加藤雅俊・丸山里美・中西典子, 『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 169-188頁	2012. 3
	その他(単著)	『新版 キーワード地域社会学』(地域社会学会編, ハーベスト社) 274-279, 306-307, 320-321頁	2011. 5
	研究発表等 (同会・バリエ等)	「自由報告部会 2-2」(地域社会学会第36回大会, 於: 山口大学)	2011. 5
	研究発表等 (同会・バリエ等)	「テーマ部会 犯罪・災害リスクとコミュニティ」(日本都市社会学会第29回大会テーマ部会, 於: 新潟大学)	2011. 9
	研究発表等 (共同)	「英国における市民社会政策とボランティア・セクター: 「大きな社会」政策への対応をめぐって」(中西典子・清水洋行・中島智人, 日本NPO学会第14回大会, 於: 広島市立大学)	2012. 3
	研究発表等 (同会・バリエ等)	「東アジアにおける市民社会の可能性」(国際シンポジウム 転換期の東アジア)	2012. 3
	中西 仁	論文(単著)	「伊倉実践から考えたこと」(『考える子ども』339号, 社会科の初志をつらぬく会) 21-23頁
	論文(単著)	「『働き方』について考える社会科授業」(『立命館産業社会論集』第47巻第3号) 83-98頁	2011.12
仲間 裕子	論文(単著)	「ダダイスト, ハンナ・ヘッピー身体, 性, そして自然」(『視る』452号, 京都国立近代美術館) 5-8頁	2011. 5
	翻訳(共訳)	金英那著『韓国近代美術の百年』(三元社) 全327頁	2011. 8
	その他 (批評・単著)	「ヨーゼフ・ボイス “パラレル・プロセス Parallel Prozesse” 展(デュッセルドルフ)」(『視覚の現場』第8号, 醍醐書房) 48-49頁	2011. 2
	研究発表等 (共同, 国外)	“The Multiple Artworks” (Pre-conference, Comité international d'histoire de l'art, 2012, Nuremberg, Germany)	2011. 5
	研究発表等 (単独, 国外)	Near and Far Landscape (The 1st Polish-Japanese Meeting: Aesthetics and Cultures, Exchanging Experiences, Jagiellonian University, Krakow, Poland)	2011. 5
	研究発表等 (単独, 国外)	“Nature and Landscape in Contemporary Representation: A Comparative View on Japanese and Western Art” (International Symposium on Theories of Art/Design and Aesthetics, Antalya University, Antalya, Turkey: Chinese translation by Xu Scheng, <i>Hubei Institute of Fine Arts Journal</i> , Feb. 2012, p.82-87.)	2011.10
	研究発表等 (単独, 国外)	“Harmonie und Diskrepanz Friedrichs Vorstellung von Natur und die Kunst der Gegenwart” (Perspektiven europäischer Romantik-Forschung heute, international Fachtagung, Alfried Krupp Wissenschaftskolleg, Greifswald, Germany)	2011.11
中村 正	訳書(監訳)	ドナルド・ダットン著『虐待的パーソナリティ』(明石書店) 全344頁	2011. 8

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
中村 正	論文(単著)	「社会臨床の視界(5) 影をとらえる—感情について」(『対人援助学マガジン (デジタル)』 1巻5号, 日本対人援助学会) 14-26頁	2011.6
	論文(単著)	「社会臨床の視界(6) 臨床の知の植民地化について—どんな言葉と文脈で対人援助を考えるか」(『同上』 1巻6号) 14-25頁	2011.9
	論文(単著)	「『加害者治療』の観点から—暴力加害者への臨床論のために」(『法と心理』 11巻1号, 法と心理学会, 日本評論社) 14-20頁	2011.10
	論文(単著)	「親密な関係性における男性の暴力への対応—加害者リハビリテーションの実践から」(『月刊地域保健』 42巻10号, 東京法規出版) 42-46頁	2011.10
中山 一樹	論文(単著)	「定型的な学びから出あう学びへ—学び手が創出される教育関係を模索する—」(『立命館産業社会論集』 第47巻第4号) 1-12頁	2012.3
長澤 克重	著書(共著)	御園謙吉・良永康平編『よくわかる統計学 II 経済統計編 [第2版]』(ミネルヴァ書房) 28-35, 104-105, 110-113頁	2011.9
	著書(共著)	金子治平・上藤一郎編『よくわかる統計学 I 基礎編 [第2版]』(ミネルヴァ書房) 34-43, 116-121, 126-129, 134-139頁	2011.10
永橋 爲介	論文(単著)	「フィルム・コミッションの課題と使命」(『自治体法務研究』 25巻, ぎょうせい) 40-45頁	2011.5
	論文(単著)	「『ほやき』を『やる気』に変えるワークシート(解説)」(『市民活動応援ブッカーつき当たった壁を乗り越えよう—』, 豊中市市民協働部コミュニティ政策室・特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21) 47-49頁	2012.3
浪田 陽子	論文(単著)	“A Historical Overview of Media Education: Making Sense of the Different Approaches and Rationales” (『立命館産業社会論集』 第47巻第4号) 81-97頁	2012.3
	研究発表等(単独)	「カナダにおけるメディア教育の現状と課題: BC州高等学校のケース・スタディから」(日本カナダ学会第36回年次研究大会, 於: 大阪学院大学)	2011.9
野田 正人	論文(単著)	「スクールソーシャルワーカー (SSWr) の仕事」「スクールソーシャルワーカー (SSWr) とスクールカウンセラー (SC) の共通性と独自性」(春日井敏之・伊藤美奈子編『よくわかる教育相談』, ミネルヴァ書房) 172-175頁	2011.4
	論文(共著)	「桐生市のいじめ自殺事件ってどんな事件だったの?」(教育開発研究所編『教育の最新事情がよくわかる本2』, 教育開発研究所) 75-77頁	2011.6
	論文(共著)	「スクールカウンセリングとスクールソーシャルワーク」(本間友巳・徳田仁子ほか『学校臨床』, 金子書房) 170-182頁	2012.1
	論文(共著)	「児童虐待と家族再生」「司法福祉の担い手」(日本司法福祉学会編『司法福祉』, 生活書院) 150-159, 190-199頁	2012.2
	論文(共著)	「スクールソーシャルワーク」(新教育課題研究会編『新教育課題の要点と実践』, 第一法規) 201-213頁	2012.2
	研究発表等(単独, 国外)	「被災者の心理と治療」(中国四川大学管理学院・立命館大学複合震災復興研究会, 於: 中国成都市・四川大学)	2011.11
	研究発表等(司会・パネリスト等)	「不登校と環境をアセスメントする」(第12回不登校フォーラム・シンポジウム, 於: 京都市)	2012.1

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
長谷川千春	論文(単著)	「日本の『無保険者』問題—アメリカとの比較の観点から—」(『國學院経済学』60巻1・2号, 國學院大學経済学会) 237-272頁	2011.5
	論文(単著)	“The Uninsured in Japan and the United States: A Comparison of Health Insurance Systems” (Kokugakuin Keizaigaku (60巻1・2号)) pp.565-601	2011.5
	論文(単著)	「アメリカ医療保険改革—雇用主提供医療保険の空洞化との関連で—」(『健保連海外医療保障』91巻) 37-48頁	2011.9
	論文(単著)	「オバマ医療保険改革による民間医療保険への影響—Medical Loss Ratio 規制を中心とした一考察—」(『生命保険論集』178巻)	2012.3
	論文(単著)	「ゆらぐアメリカ医療保障制度: オバマ政権の医療保険改革を巡って」(『立教アメリカン・スタディーズ』第34号) 127-140頁	2012.3
	調査報告 (共著)	「京都府与謝野町における障害者福祉と福祉ガバナンスに関する調査報告」(黒田学・中西典子・長谷川千春・加藤雅俊・丸山里美・青木一博, 『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 169-188頁	2012.3
	研究発表等 (単独)	「ゆらぐアメリカ医療保障制度: オバマ政権の医療保険改革を巡って」(シンポジウム・金融危機後のアメリカ経済を読み解く, 於: 立教大学)	2011.11
	研究発表等 (単独)	「日本の『無保険者』問題: アメリカとの比較の観点から」(國學院大學国際会議「福祉国家と政府間関係の日米比較」, 於: 國學院大学)	2012.1
原尻 英樹	著書(共著)	“Japanese Colonial Anthropology and Its Descendants.” Changzoo SONG (ed.) Korean Studies in Shift, Proceeding of the 2010, Pacific Asian Conference on Korean Studies (Auckland University) pp.393-416	2011.9
	著書(共編著)	原尻英樹・六反田豊・外村大共編著『日朝比較・交流史入門: 近世, 近代そして現代』(分担執筆「イントロダクション」, 「日本での定着過程: 故郷の離れ方と異国での適応」, 「近代世界における朝鮮半島からの移動」「嫌韓流からみる日本社会」「あとがき」, 明石書店) 13-46, 211-238, 211-238, 319-350, 351-352頁	2011.12
	著書(共著)	津波高志編『東アジアの間地方交流の過去と現在 濟州と沖縄・奄美を中心にして』(「濟州島のダン(堂)と壱岐島のお堂: 東シナ海域における共有化されている文化と『カミ』」, 彩流社) 79-104頁	2012.3
	翻訳(単訳)	「『韓国国籍取得同胞韓国生活早期適応定着をたすけるための政策討論会』報告書のなかの『国籍回復/取得同胞実態分析と政策改善方案』論考のII. 国籍取得及び回復同胞実態分析(上)」(LEE Kyeong-Thae 著) (『立命館産業社会論集』第47巻第3号) 151-168頁	2011.11
	翻訳(単訳)	「同(下)」(LEE Kyeong-Thae 著) (『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 189-207頁	2012.3
東 自由里	著書(共著)	Eds. Stefan Goebel and Derek, “Cities into Battlefields: Metropolitan Scenarios, Experiences and Commemorations of Total War” (Ashgate Publishing, U.K. and U.S.A.) Julie Higashi, pp.203-218	2011.9
	論文(単著)	「ニューヨーク市の移民統合政策と教育政策」(Ex Oriente「特集グローバル都市と移民統合政策」18巻, 大阪大学言語社会学会編集・発行) 1-16頁	2011.7
	論文(単著)	「NYルポ『座る人のいない椅子—それぞれの9・11メモリアル—』」(『世界』12月号, 岩波書店編) 228-33頁	2011.11

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
東 自由里	翻訳(単訳)	Onuki Satoko, Former Fukushima Governor Sato Eisaku Blasts METI – TEPCO Alliance: “Government must accept responsibility for defrauding the people” (translated into English by Julie Higashi, The Asia-Pacific Journal Vol 9, Issue 15 No 4, April 11, 2011.” (原著『週刊朝日』(April 8, 2011) (vol. 9, Issue 15巻4号))	2011.4
	その他(単著)	「セクハラ対策最前線: NY大学からのレポート/教員特有の問題, 学長率先で研修」(京都新聞文化欄4月6日朝刊) 9頁	2011.4
	研究発表等 (単独)	“The Political Landscape and Memory in Sapporo City: The Contested Space-Time Continuum” (Julie Higashi, Citoyennetés, Empires, Identités, Politiques/L’histoire des migrations dans les musées : entre mémoire et politique [Universite Blaise Pascal, Espaces Humains et Interactions Culturelles (EHIC) Clermont-Ferrand, France])	2011.11
樋口 耕一	論文(単著)	「質問紙調査における自由回答項目の分析—KH Coderによる計量テキスト分析の手順と実際」(『社会と調査』8巻, 社会調査協会) 92-96頁	2012.3
	論文(共著)	「児童養護施設内における子ども間暴力の内容と対応の分析」(酒井佐枝子・稲垣由子・樋口耕一・加藤寛『子どもの虐待とネグレクト』13巻, 日本子ども虐待防止学会) 115-124頁	2011.4
	研究発表等 (単独)	“‘The Internet’ in Newspaper Articles and People’s Minds: A Corpus-Based Exploratory Approach to Social Consciousness in Japan” (4th International Conference on Corpus Linguistics)	2012.3
	研究発表等 (共同)	「Web 調査における公募型モニターと非公募型モニターの回答傾向」(樋口耕一・中井美樹・湊邦生, 数理社会学会第53回大会, 於: 鹿児島大学)	2012.3
日暮 雅夫	研究発表等 (コーディネーター)	「痛みと正義の倫理的境界—カント, アドルノ, ハーバーマース—」(2011年度唯物論研究協会研究大会, 於: 札幌大学)	2011.10
日高 勝之	著書(共著)	『現代日本のコミュニケーション研究—日本コミュニケーション学の足跡と展望—』(日本コミュニケーション学会編, 三修社) 296-305頁	2011.4
	論文(単著)	“Male Trouble and the Empowered Female: Gender Representations of Shōwa Nostalgic Films, Part I, Transformations of Masculinity” (『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 259-274頁	2011.6
	論文(単著)	“Male Trouble and the Empowered Female: Gender Representations of Shōwa Nostalgic Films, Part II, <i>Hula Girls</i> and <i>First Love</i> ” (『立命館産業社会論集』第47巻第2号) 65-88頁	2011.9
	論文(単著)	“Male Trouble and the Empowered Female: Gender Representatins of Shōwa Nostalgic Media, Part III, Transvestism and Gender” (『立命館産業社会論集』第47巻第3号)	2011.12
	研究発表等 (単独)	“Sweet Poison: Representations of Showa Nostalgic Media” (The 13th International Conference of European Association for Japanese Studies, Tallinn, Estonia)	2011.8
平山真奈美	論文(共著)	“Pitch Cues to the Perception of Consonant Length in Japanese” (Proceedings of the 17th International Congress of Phonetic Sciences) pp.1150-1153	2011.8

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
平山真奈美	研究発表等 (共同, 国外)	“Pitch Cues to the Perception of Consonant Length in Japanese” (Haruo Kubozono, Hajime Takeyasu, Mikio Giriko and Manami Hirayama, The 17th International Congress of Phonetic Sciences the Hong Kong Convention and Exhibition Centre)	2011. 8
	研究発表等 (共同)	“Perception of accent contrasts and devoiced vowels in Japanese” (Hirayama, Manami and Mikio Giriko, 関西音韻論研究会, 於: 神戸大学)	2012. 3
深澤 敦	論文(単著)	「国際社会政策論: 国際社会政策 (ILO) と日本」(『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 97-110頁	2011. 6
	書評(単著)	「鈴木富久著『グラムシ「獄中ノート研究」』(『唯物論と現代』第46号, 関西唯物論研究会) 108-112頁	2011. 6
	書評(単著)	「三富紀敬著『欧米の介護保障と介護者支援』(『大原社会問題研究所雑誌』No.637, 法政大学大原社会問題研究所) 65-70頁	2011.11
福間 良明	著書(単著)	『焦土の記憶—沖縄・広島・長崎に映る戦後』(新曜社) 全534頁	2011. 7
	著書(共著)	高井昌吏編『「反戦」と「好戦」のポピュラー・カルチャー』(第八章「『軍神・山本五十六』の変容: 映画『太平洋の鷲』から雑誌『プレジデント』まで」, 人文書院) 265-293頁	2011. 8
	論文(単著)	“Representations of “the West,” “Japan,” and “the Periphery” in the Discourse of Lafcadio Hearn Studies” (International Journal of Japanese Sociology (Article first published online: 29 APR) (20巻)) 89-106頁	2011.11
イアン・ホザック	論文(単著)	“English language teachers as citizenship educators: Playing a role in Japanese high schools (『立命館産業社会論集』第47巻第2号) 187-206頁	2011. 9
	論文(単著)	“Reimagining Japanese Education: Borders, Transfers, Circulations and the Comparative. Edited by D.B.Willis and J. Rappleye” (British Journal of Educational Studies (59巻4号)) pp.493-495	2011.12
	研究発表等 (単独)	“Deliberative Polls for the Classroom: A Report from Japan” (9th IACSEE International Conference)	2011. 6
前田 信彦	研究発表等 (単独)	「日本における内発的エイジング・コミュニティの可能性—高齢期における利他的行為と職業経験・能力の分析—」(中国社会科学院日本研究所「中日韓における人口問題と社会発展」国際シンポジウム, 於: 中国社会科学院)	2011. 9
増田 幸子	論文(単著)	「少女マンガで語られた『戦争』」(『比較文化研究』No.98, 日本比較文化学会) 171-183頁	2011. 9
松田 亮三	論文(単著)	「熟議的・反省的医療政策に向けて—公平・質・効率・持続可能性と制度枠組み—」(NIRA 研究報告書『時代の流れを読む—自律と連帯の好循環—』, 総合研究開発機構) 77-92頁	2011. 4
	論文(単著)	「公衆衛生政策における現在知の集積・総合・共有—英国からの示唆」(『公衆衛生』75巻9号, 医学書院) 695-699頁	2011. 9
	論文(単著)	「普遍主義的医療制度における公私混合供給の展開—スウェーデンにおける患者選択制の検討」(『海外社会保障研究』178号, 国立社会保障・人口問題研究所) 4-20頁	2012. 3

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
松田 亮三	論文(単著)	「『終末期医療』の「配給」をめぐる議論に向けて一日英の対比から」(『生存学』5巻, 生活書院) 195-205頁	2012. 3
	研究発表等 (単独)	“Health policy changes: the Japanese Case” (The Japanese and Dutch health policy changes in international comparative perspective)	2011.11
	研究発表等 (単独)	“Choices in primary health care in Japan: restrictions or inducement?” (Choices in Health Care: Debates and Experiences in the UK and Japan)	2012. 3
松葉 正文	論文(単著)	「格差と貧困の諸問題・再論：失業扶助制度の実現を求めて」(『立命館産業社会論集』第47巻第1号) 195-211頁	2011. 6
	エッセイ (単著)	「貧困問題のアポリアと『富裕・中間層』社会」(『書齋の窓』609号, 有斐閣) 62-66頁	2011.11
丸山 里美	著書(共著)	『貧困待ったなし! とっちらかりの10年』(『生活相談データ分析から見えるもの』, 岩波書店) 全171頁	2012. 3
	論文(単著)	「ジェンダーとエージェンシー」(『教育福祉研究』17号, 北海道大学大学院教育学研究科教育福祉論分野) 17-18頁	2011.11
	調査報告 (共著)	「京都府与謝野町における障害者福祉と福祉ガバナンスに関する調査報告」(黒田学・中西典子・長谷川千春・加藤雅俊・丸山里美・青木一博, 『立命館産業社会論集』第47巻第4号) 169-188頁	2012. 3
	報告書(共著)	「事業報告書 2010～2011年度版」(『生活相談データ分析から見えるもの』, NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい) 10-13頁	2011.12
湊 邦生	著書(共編著)	『アジア動向年報 2011』(アジア経済研究所(編集), アジア経済研究所) 71-96頁	2011. 5
	論文(単著)	“Who Feels Left Out? Perceptions of Mongolians About Changes in Living Conditions During the Transition” (『モンゴル研究』26号, モンゴル研究会(電子版)) pp.34-45	2011. 5
	論文(単著)	일한 대도시 청장년층의 외국인에 대한 의식 : 국제 조사 데이터 비교 분석에 의한 검토 [(Attitude of the Japanese and the Korean Youth toward Foreigners in Metropolitan Area: Discussion Based on Cross-National Survey Data) (한국사회학연구 [Korean Sociological Review] 2011 Vol.3, 중앙대학교 사회학연구소 [Institute of Sociology at Chung-ang University])] pp.33-51	2011.12
	研究発表等 (単独)	「日韓ネット世代の対外国人意識—日韓比較調査データからの検討—」(2011年度第10回多文化関係学会年次大会, 於: 青山学院大学)	2011. 9
	研究発表等 (単独)	“Exploring the Japanese and the Korean Attitude toward Aid to Developing Countries: Discussion from Cross-National Social Survey Data” (国際開発学会第22回全国大会(秋季大会), 於: 名古屋大学)	2011.11
	研究発表等 (単独, 国外)	“Public Attitude toward Aid to Developing Countries in Japan and Korea: An Approach from Comparative Analyses of Cross-National Survey Data” (International Postgraduate and Academic Conference “East Asia and Globalization in Comparison”, at: Chung-ang University, Seoul)	2012. 2
	研究発表等 (共同)	「Web 調査における公募型モニターと非公募型モニターの回答傾向」(樋口耕一・中井美樹・湊邦生, 第53回数理社会学会大会 (JAMS53), 於: 鹿児島大学)	2012. 3

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
峰島 厚	論文(単著)	「ふくろうの郷の実践, 事業を考える」(『特別養護老人ホームふくろうの郷開所5周年記念誌 地域で生きる暮らしをつくる—淡路ふくろうの郷物語』, 社団法人兵庫県聴覚障害者協会) 166-171頁	2011.5
	論文(単著)	「卒業後の生活・就労支援分科会のまとめ」(『第7回全国専攻科研究会集報告集』, 全国専攻科研究会滋賀大会実行委員会) 12-14頁	2011.7
	論文(単著)	「子ども・子育て新システムと障害者自立支援法」(全国保育問題研究協議会編集委員会編『季刊 保育問題研究』250号, 新読書社) 36-51頁	2011.8
	論文(単著)	「どうなる障害者権利条約と新しい福祉制度」(『京なんれんニュース』98号, NPO 法人京都難病連) 7-16頁	2011.8
	論文(単著)	「高齢期障害者の暮らしと発達」(全国障害者問題研究会編『みんなのねがい』2011年10月号(538号), 全国障害者問題研究会出版部) 33-36頁	2011.10
	論文(単著)	「障害者の貧困問題」(部落問題研究所編『人権と部落問題』第63巻13号(通巻822号), 部落問題研究所) 28-34頁	2011.11
	論文(共著)	「障害者福祉現場における従事者のメンタルヘルスに関する基礎的研究—ストレス・コーピングの年代差と職階差に注目して—」(深谷弘和・山本耕平・大岡由佳・峰島厚, 『立命館産業社会論集』第47巻第2号) 27-41頁	2011.9
	論文(共著)	「対談・聞こえない人びとの暮らしをささえる拠点をどう作り展開していくか」(全日本ろうあ連盟編『一人ひとりが輝く』, 全日本ろうあ連盟出版局) 101-111頁	2012.3
	調査報告(共著, 監修)	障害児入所施設研究会編「知的障害児入所施設における最低基準の機能実態に関する調査研究」(みずほ財団助成研究報告書) 全163頁	2011.11
	調査報告(監修)	伊藤修毅著, 峰島厚監修「障害者自立支援法における就労継続支援事業(A型)事業所調査結果報告」46頁	2011.4
調査報告(監修)	峰島厚監修, 伊藤修毅文責「舞鶴市・障害福祉サービス利用に関するアンケート調査報告」(調査主体 発行舞鶴市高齢・障害福祉課, 調査受託 立命館大学産業社会学部峰島厚研究室) 49頁	2012.3	
調査報告(監修)	伊藤修毅著, 峰島厚監修「特例子会社全国調査報告書」45頁	2012.3	
その他(単著, 企画編集)	「特集にあたって 日々の暮らしにおける権利保障」(障害者問題研究編集委員会編『障害者問題研究』39巻4号(「特集 暮らしの基盤と地域福祉, 全国障害者問題研究会出版部) 1頁	2012.2	
森田 真樹	論文(単著)	「京都地区及び立命館大学における学校インターンシップ等への取り組みの現状と課題」(全国私立大学教職課程研究連絡協議会編『現場体験型教員養成の実態と課題』) 53-58頁	2011.5
	論文(単著)	「現代米国公民教育改革における「公民的機会」をめぐる問題—Avery論文から学ぶもの—」(『社会科研究』76号, 全国社会科教育学会) 59-64頁	2012.3
	研究発表等(単独)	「学校インターンシップ等の意味を今, 改めて問う」(全国私立大学教職課程研究連絡協議会第31回研究大会, 於: 関西学院大学)	2011.5
	研究発表等(共同)	「21世紀市民社会におけるシティズンシップ教育」(科研プロジェクト「米国社会科における多文化認識及びグローバル認識の統合と市民性育成に関する研究」(基盤研究(C): 代表 森田真樹))	2011.9

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
森田 真樹	研究発表等 (単独)	「教職大学院のカリキュラムの成果と課題」(京都教育大学大学院連合教職実践研究科2011年度実践報告フォーラム, 於: 京都教育大学)	2012.2
柳澤 伸司	論文(単著)	「NIEの歴史的諸課題—さらなる新聞教育の研究にむけて—」(『日本NIE学会誌』7号, 日本NIE学会) 1-10頁	2012.3
	研究発表等 (同会・パネリスト等)	「『NIEの新たな展開にむけて』NIEのこれまでとこれから—3・11以降の「新聞」教育とジャーナリズム研究—」(日本NIE学会第8回鳴門大会, 於: 鳴門教育大学)	2011.11
山下 秋二	著書(共著)	有賀郁敏・山下高行編『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学—』(「スポーツブランド考」, 文理閣) 249-274頁	2011.11
山下 高行	著書(共編著)	有賀郁敏・山下高行共編『現代スポーツ論の射程』(「ジョン・ハーグリーヴス再論—英国スポーツの社会的展開とグローバリゼーション研究—」, 文理閣) 350-377頁	2011.11
	論文(単著)	「スポーツと階級関係」, 「マルクス主義」(井上俊・菊幸一編『よくわかるスポーツ文化論』, ミネルヴァ書房) 46-47, 178-179頁	2011.11
	論文(単著)	“Indeterminate nationalism represented in the last twentieth century Olympic Games, the 1998 Nagano Winter Olympics” (Takayuki Yamashita, The International Journal of the History of Sport; Special Issue: The Triple Asian Olympics: Asia Rising-The Pursuit of National Identity, International Recognition and Global Esteem, London: Routledge (Vol.28, No.16)) pp.2323-2338	2011
	研究発表等 (共同)	「研究委員会シンポジウム「政治とスポーツ」: スポーツをめぐるポリティクスを再考する」(日本スポーツ社会学会第21回大会, 於: 熊本大学)	2012.3
山下 芳樹	著書(共著)	山下芳樹・川村康文他『基礎物理学(ドリルと演習シリーズ)』(電気書院) 全285頁	2011.4
	論文(単著)	「当世, 理科好き生徒気質—日本学生科学賞の50年—」(パリティ Vol.26 No.9, 丸善) 50-56頁	2011.9
	その他 (項目執筆)	「放射能・放射線」第4章(左巻健男編著『大災害の理科知識』, 新潮社) 51-68頁	2011.6
	研究発表等 (シンポジウム・コーディネーター)	「日本の未来と人づくり—「理系?」, 『文系?』企業のもとめる人材とは』(京都教育懇話会主催, 京都府・市教育委員会後援, 於: 立命館大学)	2012.3
山本 耕平	論文(共著)	「障害者福祉現場における従事者のメンタルヘルスに関する基礎的研究—ストレス・コーピングの年代差と職階差に注目して—」(深谷弘和, 山本耕平他, 『立命館産業社会論集』第47巻第2号) 27-41頁	2011.9
	論文(共著)	「内閣府平成23年度『困難を有する子ども・若者の支援者調査』委員分析: 『支援者が対応する上で抱える困難』(『困難を有する子ども・若者の支援者調査報告書』, 内閣府) 139-148頁	2012.3
	その他(単著)	「犯罪被害者支援とメンタルヘルス」(『精神保健福祉白書2012年版』, 中央法規) 46頁	2011.12
	研究発表等 (単独, 国外)	「ひきこもりの社会的要因—韓日比較検討の視座—」(韓日ひきこもり研究会, 於: ソウル市青少年職業体験センター)	2011.8
	研究発表等 (単独)	「ひきこもり・ニート当事者・家族の現状と支援について」(マッセ・市民セミナー「ひきこもり・ニート地域支援のネットワークづくりについて」, 於: 大阪国際交流センター, おおさか市町村職員研修研究センター発行講演録145-181頁)	2011.9

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
山本 耕平	研究発表等 (単独, 国外)	「青少年の暴力について」(日韓交流教育フォーラム, 於: ソウル市青少年職業体験センター)	2012. 3
吉田 誠	論文(単著) その他(単著)	「戦後初期の日産における労働協約の変遷: 1948年の改訂をめぐって」 ([『香川大学経済論叢』 84巻 1号) 45-73頁 「経営労務の動向」(法政大学大原社会問題研究所編, 『2011年版 日本労働年鑑』 第81集, 旬報社) 167-176頁	2011. 6
リム ボン	論文(単著)	「方法論としての町家—歴史都市・京都の「超再生」を促す原動力—」 ([『立命館産業社会論集』 第47巻第1号) 275-298頁	2011. 6